

台風第5号の接近に伴う農作物被害防止に向けた技術対策

平成30年(2018年)6月8日
山口県農林水産部

1 水稻

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 田植え後の水田では、田植え後日数が浅い稲も含め、強風による植え傷みや脱水症等の風害を防ぐために、冠水しない程度の深水状態で管理する。2 育苗中の苗で、緑化のために寒冷紗を被覆している場合、風雨により資材が吹き飛ぶ恐れがあるので、しっかり固定されているか十分確認する。3 迅速な排水ができるよう、排水路の点検、整備、清掃を行う。	<ol style="list-style-type: none">1 田植え後の水田は、台風通過後、速やかに排水し、通常の水管理に戻す。2 水田の稲及び育苗中の苗とも潮風害が発生した場合は、速やかに洗い流す。3 干拓地等で海水流入が生じた場合は、速やかに排水し、清水を入れ、かけ流しを行う。

2 麦類

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 未収穫ほ場では、迅速な排水ができるよう、排水路の点検、清掃を行う。2 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。	<ol style="list-style-type: none">1 台風通過後は速やかな排水に努める。

3 大豆

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 迅速な排水ができるよう、排水路の点検、清掃を行う。2 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。	<ol style="list-style-type: none">1 台風通過後は速やかな排水に努める。2 発芽前に冠水し、発芽障害を受けた場合は、播きかえを行う。

4 施設野菜・施設花き・施設果樹

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 防風ネットの点検・補強を行う。2 ハウスの点検・補強を行う。	<ol style="list-style-type: none">1 施設各部の破損、緩み等を点検し、補修する。

<ul style="list-style-type: none"> (1) ハウスバンドの締め直し、両妻面の補強 (2) サイドビニール、天井ビニールの点検、修繕 (3) 筋交い、補強支柱の取り付け <ul style="list-style-type: none"> 3 施設周辺の片づけを行う。 4 停電に備え、発電機等の確保、準備をしておく。 5 進路や風の強さ等、今後の情報に注意し、必要に応じて被覆の除去を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 2 病害の予防防除を行う。 3 施設が浸水した場合は、速やかな排水に努める。
--	---

5 露地野菜・露地花き

事前対策	事後対策
<ul style="list-style-type: none"> 1 防風ネット・支柱、フラワーネットの点検、補強を行う。 2 収穫期の果実の若どりを行う。 3 苗床、定植直後の本ぼでのべた掛け資材の被覆を行う。 4 潮風害に備え、用水の確保と動力噴霧機の準備を行う。 5 畦立溝の着実な連結や排水口への連結を行い、ほ場外排水の円滑化を図る。 6 定植、間引き作業を延期する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 支柱の立て直し、倒伏した株の引き起こしを行う。 2 傷果・葉、破損枝を除去する。 3 播種直後や生育初期のものは、被害状況により播き直しを行う。 4 草勢回復のため液肥を葉面散布する。 5 病害の予防防除を行う。 6 潮風被害後、速やかに散水する。 7 ほ場の速やかな排水に努める。

6 露地果樹

事前対策	事後対策
<ul style="list-style-type: none"> 1 防風ネット、果樹棚、マルチ等の点検、補強を行う。 2 潮風害に備え、用水の確保、動力噴霧機の準備、動力源の確保に努める。 3 幼木や高接ぎ樹の支柱点検、補強 4 ほ場外排水の円滑化を図る。 5 収穫期に近づいているものは、状況によって早期収穫を行う。 6 病害の事前予防散布（カンキツかいよう病等）を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 枝折れ除去、倒伏木の引き起こし処置を行う。 2 断根樹に対する速やかな灌水、敷き草を実施する。 3 病害の予防防除を行う。 4 潮風被害樹へ速やかに散水を行う。 5 施設各部の破損、緩み等の点検・補修を行う。

7 畜産

事前対策	事後対策
<ol style="list-style-type: none">1 畜舎や堆肥舎は、風雨に対する補強と周辺水路の整備を行う。2 搾乳施設等は、停電に対応できるよう発電機の準備を行う。3 飼料畑は、排水路の点検、整備を行い速やかな排水ができるようにする。	<ol style="list-style-type: none">1 畜舎や堆肥舎が浸水した場合は、通風換気等により乾燥を促進する。2 畜舎消毒等による疾病の発生予防を行う。3 収穫適期頃の牧草類等は、天候の回復状況を見て適期に収穫する。4 飼料畑は、速やかに排水を行う。